めいろうこどもえん　9月園だより

２０１９年度　年主題〈ことばに満たされて～ひびきあう～〉

0･1･2歳児９月主題　「気づく」

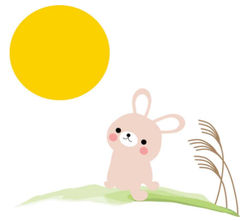
月のねがい

◎保育者の祈る姿を見て、神さまを感じる(0)
◎行動範囲が広がり、探索をする(0)
◎移りゆく季節に目をとめ、秋の自然に気づく(0)
◎子守歌を歌ってもらい気持ちよく眠りにつく(0)
◎周りの人のために祈ろうとする(1)　◎移りゆく季節を楽しむ(1)
◎友だちにも思いがあることに気づく(1)

3･4･5歳児９月主題　「やってみたい」

月のねがい

◎神さまの望まれる平和を共に考え、祈る
◎身体を動かしたり、ものごとにじっくり取り組む中で、試行錯誤する
◎空・星・虫など自然の変化に興味を持ち、友だちや保育者と思いを通わせながら関心を深める
◎友だちや保育者と一緒にことば・リズム・ルールを楽しむ遊びをする



今月の聖句　「いつまでものこるものは信仰と希望と愛、これらみっつです。」

Ⅰ コリント13:13

「信仰」とは、自分を創造し生かしてくださっている神を感謝して信じること。「希望」とは、神の助けによって成就すると信じ努力すること。希望が努力を生み出します。そして、「愛」とは自分が愛されていることを知ることです。

愛は三つのうちで最も大いなるものと言われます。この原語にはアガペーという言葉が当てられており、いわゆる特定の人を好きになる愛ではなく、何の見返りも求めない一方的で純粋な愛のことです。人間社会には滅多に見られないものですが、あえて探せば、『母の愛』でしょう。

ある人が野焼きで焼け残った灌木の根元で、ピーピーと鳴く雛の声が聞こえたので、近づいてみると、そばに焼け焦げた母鳥の姿を発見しました。燃えさかる炎の中で、自分は炎に焼かれながら雛を守ったのでしょう。彼は母鳥の愛の素晴らしさに感動したと記していました。

一方的な愛、慈雨のように降り注ぐ愛を私たちは受けています。私たちが他人を純粋な気持ちで、少しでも大切に思うことが出来るとしたら、それはまず私たち自身が神様から愛されていることを知ることから始まります。かつて、青函連絡船洞爺丸

９月の行事予定

２日（月）	始園式（1号:午前保育）
４日（水）	９月誕生会
１０日（火）	実りの秋パーティー
１８日（水）	運動会実行委員会（P４役,長・副）
１９日（木）	運動会予行練習・弁当日
２８日（土）	運動会（雨天時:市民体育館）
３０日（月）	運動会振替休日

１０月の行事予定

３日（木）	１０月誕生会
９日（水）	いもほり（予定）
１２日（土）	運動会予備日（雨天時:市民体育館）
１３日（日）	市民体育祭参加（年中長児）
１５日（火）	振替休日(予備日実施の場合のみ)
１７日（木）	遠足・弁当日
１９日（土）	ふれあい運動会（未就園児）
２３日（水）	すもう大会(年長･年中)
２４日（木）	〃　（2・3歳児）
２６日（土）	もも組誕生会

無償化について

ご承知のとおり１０月１日から幼児教育の無償化が始まります。ようやく詳細が分かりましたので、近日中に保護者の皆様向けの説明会を実施いたします。ご参集方よろしくお願いいたします。

利用料見直しのお知らせ

現在の利用料額は，H29.1~12期の所得額によって算定されております。H30.1~12 期の市民税額における階層の変動に伴い，市による利用料の見直しが行われます。

９月分より保育料が変更になる世帯もありますので、お配りする利用料決定通知書でご確認下さい。

いよいよ2学期！パワー全開！

夏休みは、皆さんいかがお過ごしでしたか？日に日にこんがり焼けていく子どもたちを見ていると、ご家族で楽しく過ごしているのかな…いろいろな所に出かけて、いっぱい体験をしているのだろうと嬉しくなることでした。子どもたちからも「おすし食べに行ったんだよ！」「流れるプールに行って、緑のすべり台を滑ったらおもしろかったよ！」などなどたくさんの思い出話を聞くことでした。

先生たちにとっても、夏休みはリフレッシュももちろんですが、いろいろな研修に参加して、2学期の保育のヒントをたくさん得る貴重な時間となっています。

今年度、熊毛地区幼稚園の主任会がめいろうこども園であり、子どもたちとの関わり方について学びました。研修の中で、『子どもたちの行動には必ず目的があり、起こした行動だけで決めつけない。必ず、そこには理由があり行動の前には何かがある。』とのことでした。私たち大人は、ついつい目の前に起こってしまったことを追求したりしてしまいますが、まずは一呼吸置いて話を聞くことがとても大事なこと。そしてもう一つは、子どもたちは注意や叱責では何も変わらないのだそうです。それよりもたくさん褒めること。成功体験を重ねること、成功できるような状況を作ることが大切だとのことでした。

早速、我が家の息子たちに「宿題して！」ではなく、大してやっていなくても「わぁ！すごい!!ノート広げたの!?」と褒めてみました。ノーリアクションで若干イライラしましたが…これも先々何か変化があるかもしれないと望みを捨てず、スモールステップで声かけをしてみようと思います。保護者の皆さんもぜひ、日々の声かけをチャレンジしてみて下さいね。

さぁ、いよいよ２学期！体をたくさん動かすことの多い学期です。ダイナミックに遊び、チャレンジし、子どもたちが躍動する日々となるように背中を押してまいります!!　　森山

「心を鍛えること」　～生活の中での鍛錬～

今年も何となく台風が多発する予感がします。もちろん外れてくれればいいんですが・・・。どうにもならないことは分かっていても、運動会時期の天候には一喜一憂してしまいますね。でも、子どもたちは至ってクールに受け入れて、どんな場所でもステキな笑顔を披露してくれるので感謝です。

このところ何故か怒りにまかせたような事件が続いています。交通トラブルを元に起こるいわゆる「あおり運転」からの暴行事件や死亡事故。スクールバスを待っていた無辜の小学生を無差別に襲撃した事件。そして三十五名の方が犠牲になったアニメ会社への放火事件等々。考えてみれば、昨今の日韓関係の悪化も国家間の怒りの連鎖とも見られます。複雑な社会の中で、怒りのやり場がないと、言ってしまえばそれまでですが、怒りを爆発させた当人達が受けたストレスは、他人を傷つける程の怒りを覚える事なのか、報道を聞く度にいつも疑問に感じています。

最近、「アンガーマネージメント」という言葉をよく聞きます。アンガーマネジメントは、怒らないようにしたり、怒りを我慢することではないそうです。自分の怒りを知り、必要なテクニックを学んで実践していくことで、「怒り」の上手な表現方法や対処方法を身につけ、怒りの感情と上手に付き合うことが大切だと言うことです。筋力は鍛えないと、どんどん衰えていくことを私は実感していますが、脳の働きも同様に、鍛えなければ弱っていきます。メンタルも然り。特に怒りを抑えることが苦手な人こそ鍛錬が必要となるわけです。

子どもたちの中にも、待つことが苦手だったり、負けることを受け入れられなかったり、思い通りにならないと感情を抑えられなくなる事例があります。大事なのは、そのことを頭から否定したり叱責するのではなく、まずはその気持ちを受け入れ、心の中を整理してあげることが大事だと思います。

運動会の時のお話です。負けることが苦手なAくん。かけっこは自分自身のことなので最後まで頑張れますが、リレーとなると自分の実力だけではどうにもなりません。運動会のリレー本番、彼はアンカーです。彼のチームは健闘していましたが、トラブルもあり最下位でアンカーへバトンが渡されました。どう頑張っても一位にはなれそうもありません。しかし、私たちの心配をよそに、彼は最後まで力を抜かずゴールを駆け抜けていきました。様々な友だちとの経験を通して、心を整える力が

《 子どもと一緒に遊ぼう　PartⅣ「絵本の読み聞かせ」》

子どもたちが大好きな絵本の読み聞かせ。園でもおやつの前後、食事の前、帰りの会前後等活動が切り替わるタイミング等で一日に何度も読み聞かせの時間を設けています。ワイワイはしゃいでいた子どもたちも、読み聞かせが始まると目を輝かせて絵本の物語に入り込んできます。こうして出来事の意味を見出し、自分を取りまく環境への理解にも深くつながっていくのだそうです。

そして実は"親の読み聞かせ"によって子どもは豊かな幸福感を体験することができます。親に抱かれ、膝の上に乗り、心の温もりを体感しながら「愛されている」ことを確認でき、そして絵本のお話について感動を分かち合い（共感体験）、更に絵本に描かれている内容を子どもが自分の中に取り入れながら自分自身を素晴らしい存在だと思えること（自尊体験）が親子の絵本の読み聞かせの醍醐味です。下記お勧めの絵本を一部紹介します。是非ご家族で市立図書館等でたくさんの絵本を借りて楽しんでください。

渡辺有一　作･絵
ピクニックに出かけたカエルの家族が、くもり空や花畑や海にむかって、あいさつすると、不思議なことが…。楽しい絵変わりの絵本です。

えがしらみちこ　作
園の帰りの自転車でかわされる親子の語らいを描く絵本。始めはうまく話せず会話もクイズのよう。でもだんだん話しが上手になっていき主人公の成長が楽しい一冊です。

中川ひろたか　作
子ども自身が、自らの成長を実感できると同時に、大きくなることの嬉しさや成長への希望が湧いてくる素敵な絵本です。